

第56回青梅マラソン大会

【出場結果】

実施日 : 2月18日(日)

コース : 東青梅4丁目→川井(折り返し)→住友金属鉾山アリーナ青梅(青梅市総合体育館)

出場者 : 関口 大樹 坪井 響己

リザルト:

	坪井	関口
部門	30kmの部	30kmの部
タイム	1:35'41"	1:42'02"
順位	3位入賞	25位

【レポート】

伝統ある第56回青梅マラソン大会は、一万六千人規模で行われ、当社からは30kmの部に、関口と坪井の2名の選手が出場しました。

今年の30kmの部には、今年開催されるパリオリンピックのマラソン日本代表選手である、九電工の赤崎選手、資生堂の一山選手、男女2名のオリンピックランナーが招待選手として招かれ、勾配の激しい青梅路に、「五輪史上、最も過酷」と評されるパリのマラソンコースの想定レースとして出場し、当社の関口、坪井の2名にとっても冬場のトレーニングを経て培った力を測るには絶好の機会であり、6位入賞を頭に入れてレースに臨みました。



前半から積極的に先頭集団を追う坪井

レースは、赤崎選手が日本記録を更新するペースで序盤から独走状態を築きましたが、坪井、関口も序盤から積極的な走りを見せて、折り返し地点での通過は、坪井が4位、関口が8位の好位置でレースを進めました。



中盤までは8番目の順位でレースを進めた関口

折り返し地点を過ぎると、上り基調から下り基調のコースに切り替わり、坪井は勢いのある走りで3位を走る前方の選手を視野に入れてレースは後半へ。

関口は20km過ぎまでは8位を死守する走りを見せましたが、以降は身体へのダメージが蓄積し、何度か脚が攣ってしまい、数回立ち止まるアクシデントに見舞われ、大幅にペースダウンとなりました。



折り返し地点を過ぎ、走りに勢いが増す坪井

坪井はレース終盤の向かい風と急勾配に苦しめられましたが、前方を走っていた選手も抜き去り、見事3位入賞となる1時間35分41秒でゴールしました。

関口も途中アクシデントに見舞われましたが、最後まで必死に走り切り1時間42分2秒の25位でゴールしました。



3位入賞！快走を見せた坪井



初の青梅路！来年にリベンジを誓う関口



伝統のある青梅マラソンで3位入賞！！おめでとうございます！

【総評】

伝統ある青梅マラソンで3位入賞を果たした坪井は、先週の全日本実業団ハーフマラソンでも1時間3分20秒のセカンドベストをマークし、その疲れも見せずに今回の青梅マラソンでも結果を残してくれました。

競技に真摯に向き合い、ほぼ一年間途絶えることなくトレーニングとレース出場を継続する姿は、まさに「鉄人」とも言うべき競技スタイルであり、今後どこまで成長してくれるのか、非常に楽しみな選手です。

また、初の30kmのレースに出場した関口も、厳しい勾配の続く青梅路の洗礼を浴びた結果となりましたが、前半は積極的に走れており、来年も青梅マラソンにチャレンジして、今回のリベンジを果たして欲しいと思います。

今年度も残すところ、チームとして選手が出場するレースは東京マラソン、ふくい桜マラソンの2つのレースを残すのみとなりました。

残りのレースも好成績が期待されますので、引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願い致します。

以上